

サポート

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(P.85)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

FOMA端末の電源が入らない

- | | |
|-------------------------|------|
| ● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 | P.19 |
| ● 電池切れになっていませんか。 | - |

充電

充電ができない(充電ランプが点灯しない、または点滅する)

- | | |
|---|------|
| ● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 | P.19 |
| ● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 | P.20 |
| ● アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 | P.20 |
| ● ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ(別売)にしっかりと接続されていますか。 | P.20 |
| ● 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで清掃してください。 | - |
| ● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。 | - |

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- | | |
|---|---|
| ● 操作中や充電中、また、充電しながらiアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタの温度が高くなる場合がありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。 | - |
|---|---|

電池の使用時間が短い

- | | |
|--|---|
| ● 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。
圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 | - |
| ● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 | - |
| ● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。 | - |

電源断・再起動が起きる

- | | |
|---|---|
| ● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。 | - |
| ● FOMAカードのIC部分が汚れていませんか。 | - |

タッチしたり、ボタンを押しても動作しない

- | | |
|-----------------------|------|
| ● オールロックを設定していませんか。 | P.41 |
| ● サイドキーロックを設定していませんか。 | P.41 |
| ● FOMA端末の電源が切れていませんか。 | P.22 |

FOMAカードが認識しない	
● FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。	P.19
● FOMAカード(青色)を挿入していませんか。	P.19

通話

ダイヤル発信できない	
● オールロックを設定していませんか。	P.41
● ダイヤル発信制限を設定していませんか。	P.41
● セルフモードを設定していませんか。	P.41

通話ができない(場所を移動しても[電波]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。	P.19 P.22
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[電波]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	-
● 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否など着信制限を設定していませんか。	-
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[しばらくお待ちください]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	-

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定にかかわらずICカード機能が利用できなくなります。	P.41
● ICカードロックを設定していませんか。	P.41
● FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.74

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「サポートブック」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(液晶画面・コネクタなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
 - お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子(イヤホンマイク端子)・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
 - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
 - 銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。
 - お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださいようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけずとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 使用箇所: スピーカ、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

i モード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

「i モード故障診断サイト」への接続方法

- i モードサイト: [i Menu] ▶ [お知らせ] ▶ [サービス・機能] ▶ [i モード] ▶ [i モード故障診断]
- i モード故障診断のポケット通信料は無料となります。
 - ・ 海外からのアクセスの場合は有料となります。



サイト 接続用
QRコード

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要がある場合に、**パケット通信を使って更新する機能**です。

※ ソフトウェア更新のパケット通信料は無料です。

更新に関する情報は、ドコモのホームページおよびi Menuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書換え)には時間がかかります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用できません(ダウンロード中は音声着信が可能です)。

- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

ストックアイコンからソフトウェアを更新する

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、待受画面にストックアイコンが表示されます(図P.24)。

1 **待受** ▶ **ストックアイコン** (ソフトウェア更新必要あり) を選ぶ ▶

2 [OK]

- 曜日と時刻を設定するとき: [時刻変更]
- すぐに書換えるとき: [今すぐ書換え]

メニューからソフトウェアを更新する

1 **カスタム** [設定] ▶ [一般設定] ▶ [ソフトウェア更新]

2 端末暗証番号を入力 ▶ ▶ [更新実行]

3 更新方法を選ぶ ▶

有害なデータをチェックする

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

- まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

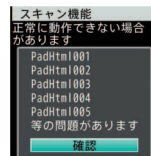
1 **カスタム** [設定] ▶ [一般設定] ▶ [スキャン機能] ▶ [パターンデータ更新] ▶ [はい] ▶ [はい]

2 パターンデータ更新が完了したら

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

- 警告画面で[問題要素名一覧]を選択すると、問題要素名が表示されます。パターンデータの内容によって問題要素名がない場合、[問題要素名一覧]は表示されません。
- 問題要素名は最大5個まで表示されます。6個以上検出した場合は、5個目の問題要素名の下に[等の問題があります]と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、1個のみ表示されます。



スキャン結果の表示について

警告レベル 0	警告レベル 1	警告レベル 2	警告レベル 3	警告レベル 4
[確認]: 表示/起動/発信	[はい]: 中止 [いいえ]: 表示/起動/発信	[確認]: 終了	[はい]: 削除確認画面へ [いいえ]: データを削除しないで終了	[確認]: データ削除

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。


なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1/02※1
- 電池パック SH21
- リアカバー SH34
- 卓上ホルダ SH28
- イヤホンターミナル P001※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※3
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※3/P02※3
- ステレオイヤホンセット P001※2
- スイッチ付イヤホンマイク P001※2/P002※2
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※3
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA USB接続ケーブル※4
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA DCアダプタ01/02
- FOMA室内用補助アンテナ※5

- 車載ハンズフリーキット 01※6
 - FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
 - 車内ホルダ01※7
 - FOMA乾電池アダプタ 01
 - キャリングケースL 01
 - 骨伝導レシーバマイク 01※3/02
 - FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※4
 - FOMA 補助充電アダプタ 01
 - FOMA室内用補助アンテナ(スタンドタイプ)※5
- ※1 ACアダプタの充電方法については、P.20をご覧ください。
- ※2 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
- ※3 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01を接続しないとご利用になれません。
- ※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ※5 日本国内でご利用ください。
- ※6 SH-01Bを充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
- ※7 車内ホルダ01をご利用になるときは、サイドキーロックを設定してください。

付録

メニュー一覧

-  の項目は、設定リセット (P.42) でお買い上げ時の状態に戻る項目です。
 - ・ 項目の中には、お買い上げ時の状態に戻らない機能を含んでいる場合があります。

カスタムメニュー／基本メニュー／タッチメニュー一覧

- カスタムメニューに設定されているきせかえツールによっては、機能名の表記が異なる場合があります。

i モードメニュー

i モード	
i Menu・検索	
Bookmark	
画面メモ	
ラストURL	
URL入力	URL入力
	URL入力履歴
i チャンネル	i チャンネル一覧起動
	i チャンネルテロップ設定
	i チャンネル初期化
i モード設定	i モードブラウザ設定
	フルブラウザ設定
	共通設定
	i モード設定確認
	i モード設定リセット

i モード	
RSSリーダー	
フルブラウザホーム	

i アプリメニュー

i アプリ	
ソフト一覧	
i アプリコール履歴	
i アプリ設定	i アプリ音量設定
	ソフト情報表示設定
	自動起動設定
	省電力設定
	i アプリコールDL設定
	i ウィジェットローミング設定
	i ウィジェット効果音
	オートGPS優先設定
i アプリ使用データ	
情報表示	自動起動失敗履歴
	強制終了履歴
	セキュリティエラー履歴
	トレース表示

カメラメニュー

カメラ	
静止画撮影	
動画撮影	
プリティアレレンジカメラ	
コラムリーダー	
バーコードリーダー	
名刺リーダー	
情報リーダー	
モーションデコ	
ショットデコ	
カメラルーペ	
ハンドミラー	

メールメニュー

メール	
受信BOX	
送信BOX	
未送信BOX	
新規メール作成	
新規デコメアニメ作成	
新規SMS作成	
テンプレート	デコメテンプレート デコメアニメテンプレート
i モード問い合わせ	
SMS問い合わせ	
メール選択受信	メール選択受信 メール選択受信設定

メール

メール設定	クイック返信メール設定
	添付ファイル受信設定
	メロディ自動再生
	文字サイズ設定
	受信・自動送信表示
	i モード問い合わせ設定
	詳細直接表示設定
	メッセージ自動表示設定
	メール選択受信設定
	ブログ/SNS投稿先設定
	メールメンバー設定
	署名登録
	メールテロップ設定
	SMS設定
	エリアメール設定
	編集時自動保存設定
プレビュー後既読設定	
メール設定確認	
メール設定リセット	
シークレットメール設定	
アドレス・迷惑メール設定	

設定メニュー

設 定	
音・バイブ・マナー	音量選択
	音選択
	バイブレート設定
	マナーモード設定
	クイックサイレント
	イヤホン切替設定
	着信鳴動時間設定
	呼出動作開始時間設定
	保留・応答保留音
	音再生設定
表示・ランプ・省電力	待受設定
	サブディスプレイ設定
	文字表示設定
	カラー・グラフィック設定
	ランプ設定
	表示画質設定
	照明・省電力設定
	ベールビュー設定
	メニュー優先設定

設 定	
一般設定	確認
	文字入力設定
	自動電源ON/OFF
	日時設定
	Bilingual
	TOUCH CRUISER設定
	USBモード設定
	スキャン機能
	ソフトウェア更新
	設定リセット
NWサービス	留守番電話
	キャッチホン
	転送でんわ
	迷惑電話ストップ
	発信者番号通知
	番号通知お願いサービス
	通話時間/料金確認
	2in1設定
	通話中着信
	その他のNWサービス
デュアルネットワーク	
英語ガイダンス	
ドコモへのお問い合わせ	
追加サービス	
マルチナンバー	
着もじ	
ローミングガイダンス設定	
通話・通信機能設定	通話中設定
	イヤホンスイッチ発信設定

設 定	
通話・通信機能設定	着信時設定
	テレビ電話設定
	伝言メモ設定
	クローズ動作設定
	セルフモード
	フェムトセル設定
	その他の設定
セキュリティ	シークレットモード
	FOMAカード(UIM)設定
	着信拒否/許可設定
	発信履歴表示
	メール履歴表示
	ロック設定
	端末暗証番号変更
	手書き認証設定
データ一括削除	
i コンシエル設定	i コンシエル着信設定
	インフォメーション表示設定
電池	電池残量
	電池マーク表示設定
	電池マーク%一時表示
初期設定	

電話メニュー

電 話	
電話帳	
リダイヤル	
着信履歴	
出局番号表示	

おサイフケータイメニュー

おサイフケータイ	
ICカード一覧	
DCMX	
トルカ	
ICカードロック設定	電源ON時ICロック設定
	電源OFF時ICロック設定
設定	ICカードからトルカ取得
	ワンセグからトルカ取得
	トルカ重複チェック
	トルカ自動読取チェック
	トルカ自動表示
トルカサウンド設定	
ICオーナー確認	
ICオーナー変更	
i モードで探す	

データBOXメニュー

データBOX	
マイピクチャ	
ミュージック	
Music&Videoチャンネル	
i モーション/ムービー	
ワンセグ	
メロディ	
マイドキュメント	
きせかえツール	
マチキャラ	
キャラ電	
データBOX検索	
アルバム	

i コンシェルメニュー

i コンシェル	
i コンシェル	

ワンセグメニュー

ワンセグ	
ワンセグ視聴	
番組表	
予約リスト	
予約録画履歴	
テレビリンク	
チャンネル設定	
ワンセグ設定	ビデオ録画先設定
	放送用保存領域消去
	画像表示設定
	効果音鳴動設定
	ワンセグ設定確認
	確認表示設定リセット
	ワンセグ設定リセット

LifeKitメニュー

LifeKit (1/2)	
バーコードリーダー	
赤外線受信	受信
	全件受信
microSD	microSD一括振分け
	microSDデータ参照
	一括バックアップ/復元
	個別バックアップ/復元
	インポート
	管理情報の更新

LifeKit (1/2)	
microSD	フォーマット
	USBモード*設定
Bluetooth	接続待機
	Bluetooth受信
	機器リスト・接続・切断
	新規機器登録
	Bluetooth電源オン/Bluetooth電源オフ
	送信予約データ削除
	Bluetooth設定
手書き	
ウェルネス	指定 i アプリ起動
	歩数確認
	プロフィール登録
	設定
プレゼンアシスト	
テキストメモ	
スケジュール	
アラーム	
電卓	

LifeKit (1/2)	
地図・GPS	地図
	イマドコサーチ
	イマドコかんたんサーチ
	i エリア周辺情報
	地図・GPSアプリ
	現在地確認
	位置履歴
	現在地確認設定
	現在地通知/設定
	位置提供設定
	地図設定
	オートGPS

LifeKit (2/2)	
名刺リーダー	
情報リーダー	
ケータイデータお預かり	
タイマー	
お目覚めTV	
マンガ・ブックリーダー	
ドキュメントビューア	
PDF対応ビューア	
ボイスレコーダー	
音声/伝言メモ	
クラシックスケジュール	
クイック検索	

MUSICメニュー

MUSIC
ミュージックプレイヤー
Music&Videoチャンネル

その他の機能

クイック設定	
受話音量調節	
テレビ電話	
マナーモード	
おまかせロック	
サイドキーロック	
絵文字プラス®	
ショートカットメニュー	
文字入力	文字入力/辞書設定

主な仕様

本体

品名	SH-01B		
サイズ	高さ約110mm×幅約50mm×厚さ約14.7mm(最厚部:約19.9mm) (折りたたみ時)		
質量	約126g(電池パック装着時)		
連続通話時間※1※2	FOMA/3G	音声電話時:約210分 テレビ電話時:約110分	
	GSM	音声電話時:約200分	
連続待受時間※2※3	FOMA/3G	3G/GSM 切替:3G	移動時:約330時間※4
		3G/GSM 切替:自動	移動時:約310時間※4 静止時:約460時間※5
	GSM	3G/GSM 切替:自動	静止時:約270時間※5
フンセグ視聴時間	約240分		
充電時間	ACアダプタ:約120分		
	DCアダプタ:約120分		
液晶部	方式	メインディスプレイ:NEW EバイルASV液晶 16,777,216色 サブディスプレイ:有機EL 1色	
	サイズ	メインディスプレイ:約3.4inch サブディスプレイ:約1.4inch	
	画素数	メインディスプレイ:409,920画素(480×854ドット) サブディスプレイ:12,288画素(192×64ドット)	
撮像素子	種類	メインカメラ:CCD※6 サブカメラ:CMOS※6	

撮像素子	サイズ	メインカメラ:1/2.3inch サブカメラ:1/8.2inch
カメラ部	有効画素数	メインカメラ:約1210万画素 サブカメラ:約43万画素
	記録画素数(最大時)	メインカメラ:約1200万画素 サブカメラ:約41万画素
	ズーム(デジタル)	メインカメラ:最大約25.0倍 サブカメラ:最大約5.4倍
ピクチャーライト光源LED特性		a) 連続発光 b) 波長 白:400-700nm c) 最大出力 白:880μW(本体内部4.8mW)
記録部	静止画記録枚数	約2000枚※7※8
		約540枚※7※9
		約1800枚(microSDカード(64Mバイト)保存時)※7
	静止画連続撮影	12M: 3枚/8M: 3枚/5M: 3枚/3M: 3枚/フルHD: 3枚/待受: 8枚/VGA: 10枚/QVGA: 40枚/QCIF: 40枚
	静止画ファイル形式	JPEG
動画録画時間	1件あたり約18分※10	
動画ファイル形式	MP4	
音楽再生	連続再生時間	i モーション:約490分※11
		着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約1220分※11
		WMAファイル(バックグラウンド再生対応):約1020分※12

音楽再生	連続再生時間	Music&Videoチャネル(音声) (バックグラウンド再生対応):約 1130分
		Music&Videoチャネル(動画):約 490分
保存容量	着うた®	約140M/バイト※13
	着うたフル®	

- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※2 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。
- ※3 連続待受時間とは、FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。i モード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話や i モード通信をしなくても、ワンセグの視聴、i モードメールの作成、Bluetooth機能、ダウンロードした i アプリ、i アプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。
- ※4 FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ※5 FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※6 CCD(charge coupled device:電荷結合素子)およびCMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。
- ※7 画像サイズ:QCIF(176×144ドット)/画質:ノーマル/ファイルサイズ:10K/バイト

- ※8 お買い上げ時に登録されているデータ(削除可能なデータ)を削除した場合の撮影枚数です。
- ※9 お買い上げ時に登録されているデータ(削除可能なデータ)を削除していない場合の撮影枚数です。
- ※10 画像サイズ:sQCIF(128×96ドット)/画質:ノーマル/ファイルサイズ制限:制限なし/種別:映像+音声
- ※11 ファイル形式: AAC形式
- ※12 ファイル形式: WMA形式
- ※13 静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、i アプリ、電子書籍/電子辞書/電子コミック、Music&Videoチャネル、ビデオ、トルカを保存している場合には、着うた®/着うたフル®の保存容量は少なくなります。

電池パック

品名	電池パック SH21
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	770 mAh

ビデオの保存件数と録画時間の目安

	保存件数	録画時間
FOMA端末(本体)	最大99件	最長約40分
microSDカード(16G/バイト)※	最大99件	最長約5120分

- ※ 1回あたりの録画サイズは2G/バイト(約640分)までです。2G/バイトを超えるmicroSDカードを使用し、空き容量があっても録画を終了します。

FOMA端末の保存・登録件数

種 別		保存・登録可能件数
電話帳		1000※ ¹
ワンセグ	テレビリンク	100
	視聴予約／録画予約	50※ ²
スケジュール	スケジュール	2500
	休日	100
	祝日	20※ ³
テキストメモ		10
メール(SMSとiモードメールの合計)	受信メール	2500※ ⁴ ※ ⁵ ※ ⁶
	送信メール	500※ ⁴ ※ ⁵
	未送信メール	500※ ⁵
デコメ [®] テンプレート		100※ ⁶
デコメアニメ [®] テンプレート		100※ ⁶
メッセージ	メッセージR	50※ ⁵
	メッセージF	50※ ⁵
ブックマーク		200
画面メモ		400※ ⁵
ダウンロード辞書		9※ ⁷
iアプリ		100※ ⁵ ※ ⁶
画像		2000※ ⁵ ※ ⁶ ※ ⁸
動画/iモーション		100※ ⁵ ※ ⁶
きせかえツール		50※ ⁵ ※ ⁶
マチキャラ		50※ ⁵ ※ ⁶
キャラ電		50※ ⁵ ※ ⁶
メロディ		500※ ⁵
PDFデータ		50※ ⁵ ※ ⁶
トルカ		200※ ⁵
電子書籍／電子辞書／電子コミック		1000※ ⁵ ※ ⁶

種 別	保存・登録可能件数
ワンセグのビデオ	99※ ⁵
フォント(TTF)	1

- ※1 50件までFOMAカードに保存できます。
- ※2 視聴予約と録画予約を合わせた件数です。
- ※3 あらかじめ登録されている国民の祝日とは別に登録できます。
- ※4 SMSの場合はさらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。
- ※5 メモリの使用状況によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
- ※6 お買い上げ時に登録されている削除可能なデータも含まれます。
- ※7 使用辞書には5件まで設定できます。
- ※8 ワンセグで録画した静止画も含まれます。

携帯電話機の比吸収率(SAR)

この機種SH-01Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2 W/kg^{*}の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の高さに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機SH-01BのSARの値は0.300W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-empf.org/>

ドコモのホームページ

<http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html>

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.265 W/kg^{*}.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-01B is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai>

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.364 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.851 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00105.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.ctia.org/>.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「mopera」、「キャラ電」、「デコメール®」、「デコメ®」、「デコメアニメ®」、「i アプリ」、「i モーション」、「i モード」、「i チャネル」、「DCMX」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「セキユリティスキャン」、「メッセージF」、「マルチナンバー」、「おまかせロック」、「ケータイデータお預かりサービス」、「着もじ」、「i Cお引っこしサービス」、「ぎせかえツール」、「OFFICEED」、「i エリア」、「2in1」、「Music&Videoチャネル」、「メロディコール」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「i コンシェル」、「i ウィジェット」、「i アプリコール」、「i スケジュール」、「docomo PRIME series」、「i-mode」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「i-appli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- symbian** 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd の商標または登録商標です。© 1998-2009 Symbian Software Ltd. All rights reserved.
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- マルチタスク/Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。




- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved. JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。



- picssel**  ドキュメントビューアはPicssel Technologiesにより実現しています。Picssel, Picssel Powered, Picssel Viewer, Picssel Document Viewer and the Picssel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picssel Technologies and/or its affiliates.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよび は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- Google、モバイルGoogle マップは、Google, Inc.の登録商標です。
- Irsimple™、IrsS™またはIrsSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- F e l i c aは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- F e l i c aは、ソニー株式会社の登録商標です。
-  はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster, LLC.の米国内外における登録商標です。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- FlashFX® Pro™は、米国Datalight, Inc.の商標または登録商標です。(U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156)
- PhotoSolid®, FrameSolid®, PhotoScouter®, ImageSurf®, StrobePhoto®, TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- 本製品には株式会社モルフォのMorpho Effect Library [PRETTY]を採用しております。
- Morpho Effect Library [PRETTY]は株式会社モルフォの商標です。
- 本製品は沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE(Face Sensing Engine)を使用しています。
 
 FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。
- 「BILINK」はオムロンヘルスケア株式会社の登録商標です。
- 「TOUCH CRUISER」、「ベールビュー」、「VeilView」、「チェイスフォーカス」、「スマートリサイズズーム」、「AQUOS SHOT」、「モーションデコ」、「ショットデコ」、「ベストセレクトフォト」、「プリティアレンジカメラ」、「お目覚めTV」、「クイック設定」、「待受タッチランチャ」、「ブレゼンアシスト」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
 その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。
 追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(i i)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイターから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(i i)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイターから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®および Adobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe Reader Mobile Copyright © 1993-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe, Adobe Reader, Flash, およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Client、NetFront Browser DTV Profile One-seg Editionを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。Copyright © 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。



ACCESS™ NetFront®

- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。Copyright © 2006-2009, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 本製品のBluetoothソフトウェア・スタックは、株式会社東芝が開発し、著作権を有するToshiba Embedded Bluetooth Stack for Symbianを搭載しております。

- コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 「CP8 PATENT」
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows Vistaは、Windows Vista[®](Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate)の略です。
 - Windows XPは、Microsoft[®] Windows[®] XP Professional operating systemまたはMicrosoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating systemの略です。
 - Windows 2000は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- 本製品内蔵のネット辞典ではBSDライセンスを使用しています。Copyright © 2002,2003, Stefan Haustein, Oberhausen, Rhld., Germany All rights reserved
 - Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Quick Manual

CAUTION

Use only the battery packs and adapters specified by NTT DOCOMO for use with the FOMA terminal.

The use of devices other than those specified may cause the FOMA terminal, battery pack or other devices to leak, overheat, explode, catch fire or malfunction.

Do not throw the battery pack into a fire.

The battery pack may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.

May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a docomo Shop, retailer or institution that handles used batteries in your area.

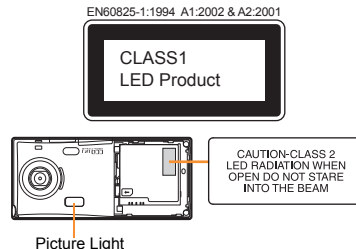
Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the FOMA terminal within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Do not use Picture Light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.



CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Picture Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

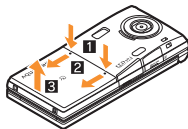
Picture light source LED characteristics

- Continuous illumination
- Wavelength
White: 400-700 nm
- Maximum output
White: 880 μ W (inside FOMA terminal 4.8 mW)

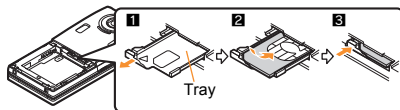
Before Use

Inserting FOMA card and battery pack

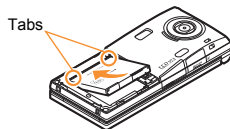
- 1 Push the back cover in the direction of the arrow (1), slide approximately 2 mm (2) and remove the back cover (3)



- 2 Pull out the tray straight (1). Set the FOMA card on the tray with the IC side turned up (2) and push the tray all the way in (3)



- 3 Turn a recycle mark side up, match tabs and attach the battery pack



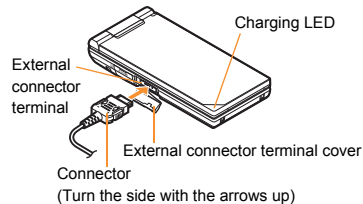
- 4 Place the back cover as shown in the illustration, push and slide it to insert



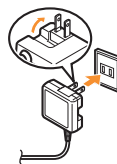
- Turn off the power and insert the FOMA card/battery pack while holding the FOMA terminal with your both hands. Note that excessive force may damage the FOMA terminal, FOMA card and battery pack.

Charging

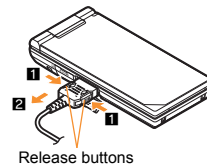
- 1 Open the external connector terminal cover and insert the AC adapter connector horizontally into the external connector terminal



- 2 Insert the AC adapter power plug into an outlet
 - Charge start sound is heard, charging LED illuminates, and charging starts.

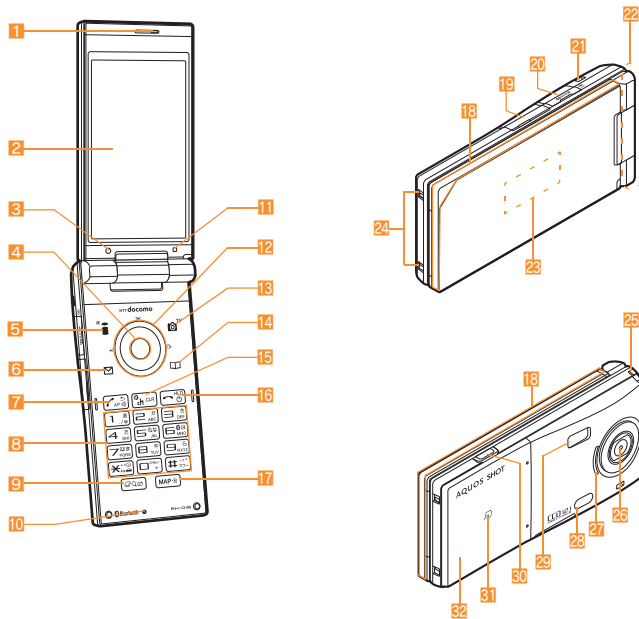


- 3 Hold the release buttons (1) and horizontally remove the connector (2) when charging is complete
 - Charge end sound is heard and charging LED turns off when charging is complete.



- Note that excessive force may damage the FOMA terminal and AC adapter.

Part Names and Functions



- 1 Earpiece
- 2 Main display/Touch panel
- 3 Sub camera
- 4 : TOUCH CRUISER
- 5 : i-mode/Operation guidance key
- 6 : Mail/Operation guidance key
- 7 : Start/Hands-free/Eco key
- 8 : 1 to 9, 0, *, and #: Dial/Character entry keys
- 9 : Multi/Quick search/VeilView key
- 10 Mouthpiece/Microphone
- 11 Brightness sensor
- 12 : Multi-guide key
- 13 : Camera/TV/Operation guidance key
- 14 : Phonebook/Operation guidance key
- 15 : i-Channel/Clear key
- 16 : Power/End key
- 17 : MAP/GPS key
- 18 Called/Charging LED
- 19 External connector terminal
- 20 microSD Card slot
- 21 Strap hole
- 22 FOMA antenna
- 23 Sub display
- 24 Charger terminal
- 25 1Seg antenna
- 26 Main camera
- 27 Speaker
- 28 Infrared port
- 29 Picture Light
- 30 : Side key
- 31 : mark
- 32 Back cover

● Key illustrations are examples and may look different from actual keys.



Icon display area

Main icons

	Signal status (Strong → Weak) <ul style="list-style-type: none"> When appears, the handset is outside the service area or in a place with no signal.
	Battery level (High → Low)
	i-mode/Full Browser
	i-appli
	GPS
	Ir communication/Bluetooth communication
	i-mode mail/SMS/Area Mail received
	microSD Card
	1Seg being recorded
	Record message
	Silent
	Vibrator

	Manner mode
	Public mode (Drive mode)
	IC card lock
	Restriction
	Hands-free
	Alarm
	Music&Video Channel program reservation
	FOMA card error
	Self mode
	Bluetooth
	VeilView
	3G/GSM
	ToruCa
	Information received

Basic Operations

Turning power on/off

■ Turning power on

- 1 (for 2+ seconds)

■ Turning power off

- 1 (for 2+ seconds)

Changing screen display to English

- 1 **Custom** [設定] ▶ [一般設定] ▶ [Bilingual] ▶ [English]

Making initial setting

The initial setting screen automatically appears when the power is turned on for the first time. Make the initial setting according to instructions on the screen.

※ Terminal security code (four to eight digits) is set to [0000] by default but can be changed by user.

Checking your own phone number

- 1 **Custom**

Character entry

※ Operate in the character entry screen.

■ Switching entry modes

- 1 ▶ select the entry mode with

■ Switching upper/lower case

- 1 Enter a character ▶

■ Deleting characters

- 1 Move the cursor to the character and
 - To delete all characters: At the end of the message, (for 1+ seconds)

■ Using phrases

- 1 (for 1+ seconds) ▶ select a phrase ▶ ▶ confirm the phrase ▶

■ Entering pictograms/symbols

- 1
 - To switch between pictogram and Deco-mail pictogram:
 - To switch between single- and double-byte symbols:

- 2 Select a pictogram/symbol ▶

■ Entering emoticons

- 1 (for 1+ seconds) ▶ select an emoticon ▶

■ Character entry example

Ex.) When entering “電話”

- 1 ▶ [あ] with
- 2 (four times) ▶ (once) ▶ (three times) ▶ (once)
- 3 to move the cursor to the conversion candidates field
- 4 Select “電話” ▶

Changing ring tone

- 1 **Custom** [Settings] ▶ [Snd/Vibrator/Manner] ▶ [Select sound]
- 2 Select an item ▶
- 3 Select a ring tone ▶

Lock/Security

Changing terminal security code

- 1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [Change security code] ▶ enter the current terminal security code ▶
- 2 Enter the new terminal security code ▶ ▶ enter the new terminal security code again ▶

Changing network security code

- 1 [iMenu] ▶ [お客様サポート] ▶ [各種設定 (確認・変更・利用)] ▶ [ネットワーク暗証番号変更]

Changing i-mode password

- 1 [iMenu] ▶ [English] ▶ [Options] ▶ [Change i-mode Password]

Changing PIN1/PIN2 code

- 1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [UIM Settings] ▶ enter the terminal security code ▶
- 2 Select the PIN1 or PIN2 code ▶
- 3 Enter the current PIN code ▶
- 4 Enter the new PIN code ▶ ▶ enter the new PIN code again ▶

Various lock functions

All lock

1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [Lock settings] ▶ enter the terminal security code ▶ ▶ [All lock] ▶ [Yes]

Keypad dial lock

1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [Lock settings] ▶ enter the terminal security code ▶ ▶ [Keypad dial lock] ▶ select the setting ▶

Function lock

1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [Lock settings] ▶ enter the terminal security code ▶ ▶ [Function lock] ▶ select an item to lock ▶ ▶

Self mode

1 **Custom** [Settings] ▶ [Phone settings] ▶ [Self mode] ▶ select the setting ▶ ▶ [Yes]

Multi lock

1 **Stand-by** (for 1+ seconds) ▶ [Multi lock] ▶ [Yes]

IC card lock

1 **Stand-by** (for 1+ seconds) ▶ [IC card lock] ▶ [Yes]

Side key lock

1 **Stand-by** (for 1+ seconds) ▶ [Side key lock]

Omakase Lock

Omakase Lock is a service to lock the personal data and IC card functions in case of loss, etc. by only your request to DOCOMO via phone.

- This is a paid service. Refer to "Mobile Phone User's Guide [i-mode] FOMA version" for details on Omakase Lock.

Enable/Disable Omakase Lock

0120-524-360 Office hours: 24 hours

Incoming call restriction

Rejecting a call with no caller ID

1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [Accept/Reject calls] ▶ enter the terminal security code ▶

2 Select the reason ▶

3 Select the setting ▶

Rejecting a call from a caller unset in phonebook

1 **Custom** [Settings] ▶ [Security] ▶ [Accept/Reject calls] ▶ enter the terminal security code ▶ ▶ [Reject unknown]

2 Select the setting ▶

Voice/Videophone Calls

Making a voice/videophone call

1 **Stand-by** enter a phone number

2 (Phone)/ (V.phone)

3 to end the call

Receiving a voice/videophone call

1 When a call is received, the ring tone sounds and the called LED flashes

2

3 to end the call

Making a call with redials/received calls

1 **Stand-by** ((Redial))/ ((Received calls))

2 Select a phone number and dial

- Voice call:

- Videophone:

Overseas use

Making a call outside your country of stay (including Japan)

1 **Stand-by** (for 1+ seconds) ▶ enter the country code, area code (city code) and other party's phone number ▶ (Phone)/ (V.phone)

- When the area code (city code) begins with "0", omit the "0" when dialing (Include "0" when making a call to some countries or regions such as Italy).

Making a call in your country of stay

1 **Stand-by** enter a phone number

2 (Phone)/ (V.phone)

Making a call to a WORLD WING subscriber overseas

Even when making a call to the phone in your country of stay, make an international call to Japan if the call recipient is a "WORLD WING" subscriber overseas.

1 **Stand-by** (for 1+ seconds) ▶ ▶ enter the other party's mobile phone number excluding the first "0" ▶ (Phone)/ (V.phone)

Mail

Composing and sending i-mode mail

- 1 **Stand-by** [Mail] > [Compose message] > select the [To] field > [Direct input]^{*1} > enter an address > [OK]
 - 2 Select the [Sub] field > [OK] > enter a subject > [Msg] > enter messages > [OK] > [Send]^{*2}
- *1 To select a recipient from a phonebook, select [Search phonebook].
*2 To attach a file, select the attachment field (No attachment) > [OK] > select the file to attach.

Checking new i-mode mail

- 1 **Stand-by** [Mail] > [Check new messages]

Replying to i-mode mail

- 1 In the received mail details screen, [Reply/Forward]
- 2 Select the reply method > [OK]
- 3 Compose and send a mail

Forwarding i-mode mail

- 1 In the received mail details screen, [Reply/Forward] > [Forward]
- 2 Enter an address and send a mail

Displaying a mail in Inbox/Outbox/Unsent messages

- 1 **Stand-by** [Mail]
 - 2 Select the mailbox > [OK]
 - 3 Select a mail > [OK]
- ※ [New] appears in the stand-by display when a mail is received.

Phonebook

Adding entries to phonebook

- 1 **Stand-by** [Phone] > [New] > [Phone]
 - 2 Enter a name > [OK] > [Phone] > enter a phone number > [OK] > select a phone type icon > [OK] > [Mail] > enter a mail address > [OK] > select a mail address type icon > [OK] > [OK]
- ※ Other items can be saved as well.

Camera

Shooting still pictures

- 1 **Custom** [Camera] > [Shoot still pic] > [OK] > [OK]

Shooting moving pictures

- 1 **Custom** [Camera] > [Shoot movie] > [OK] > [OK] > [Save]

Displaying still pictures

- 1 **Custom** [Data box] > [My picture] > select a still picture > [OK]

Playing moving pictures

- 1 **Custom** [Data box] > [i-motion/Movie] > select a moving picture > [OK]

Watching 1Seg

Performing automatic channel setting

- 1 **Custom** [1Seg] > [Channel setting]
- 2 Select the number to save > [Auto channel set] > [Yes]
- 3 Select an area > [OK] > select a prefecture/district > [OK] > [OK] > [Yes]

Selecting a channel list

- 1 **Custom** [1Seg] > [Channel setting] > select a channel list > [OK]

Watching 1Seg

- 1 **Custom** [1Seg] > [Activate 1Seg]
 - To record a video of 1Seg programs: While watching 1Seg, [Record] (for 1+ seconds) > [Record] > [OK]
 - To record 1Seg programs as a still picture: While watching 1Seg, [Still]

Watching Videos

- 1 **Custom** [Data box] > [1Seg]
- 2 [Video] folder > select a video > [OK]

Music Playback

Using Music&Video Channel

- 1 **Custom** [MUSIC] ▶ [Music&Video ch] ▶ select a program ▶

Using MUSIC Player

- 1 **Custom** [Data box] ▶ [MUSIC] ▶ select music data ▶

Network Services

Using Voice Mail Service

Voice Mail Service is a paid option (monthly fees apply) that requires subscription.

- 1 **Custom** [Settings] ▶ [NW Services] ▶ [Voice Mail]
- 2 [Activate VoiceMail] ▶ [Activate VoiceMail] ▶ [Yes]

Using Call Waiting

Call Waiting is a paid option (monthly fees apply) that requires subscription.


- 1 **Custom** [Settings] ▶ [NW Services] ▶ [Call waiting]
- 2 [Activate] ▶ [Yes]

Using Call Forwarding Service

Call Forwarding Service is a free option (no monthly fees) that requires subscription.

- 1 **Custom** [Settings] ▶ [NW Services] ▶ [Call Forwarding]
- 2 [Activate] ▶ [Activate] ▶ [Yes]

Osaifu-Keitai

Hold the  mark of the FOMA terminal over the scanning device to use as electronic money or railway tickets, or retrieve ToruCa.

- When the FOMA terminal is stolen or lost, immediately contact your provider of Osaifu-Keitai compatible service for handling methods.

Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Registering Bluetooth device

- Set the other party's Bluetooth device to the registration stand-by status.

- 1 **Custom** [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [List/cnct/discnct] ▶ [Yes]
- 2 Select a Bluetooth device to register ▶
- 3 Enter the Bluetooth passkey ▶

Connecting to registered Bluetooth devices

- 1 **Custom** [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [List/cnct/discnct]
- 2 Select a Bluetooth device to connect to ▶

General Notes

Introduction of options and related devices

- Battery Pack SH21
- FOMA AC Adapter 01 for Global use
- FOMA AC Adapter 01/02
- Desktop Holder SH28

Main specifications

Size	110 (H) × 50 (W) × 14.7 (D) mm (19.9 at thickest point) (when folded)*	
Weight	126 g (with battery pack attached)*	
Continuous talk time	FOMA/3G	Voice call: 210 min* Videophone: 110 min*
	GSM	Voice call: 200 min*
Continuous stand-by time	FOMA/3G	3G/GSM setting: 3G When mobile: 330 hr*
		3G/GSM setting: AUTO When mobile: 310 hr* At rest: 460 hr*
	GSM	3G/GSM setting: AUTO At rest: 270 hr*
Estimated charge time	FOMA AC Adapter 01/02	120 min*
	FOMA DC Adapter 01/02	120 min*

* Approximate value

Specific Absorption Rate (SAR) of mobile phone

This model phone SH-01B meets the MIC's* technical regulation for exposure to radio waves.

The technical regulation established permitted levels of radio frequency energy, based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg)** averaged over ten grams of tissue. The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The value of the limit is equal to the international guidelines recommended by ICNIRP***.

All phone models should be confirmed to comply with the regulation, before they are available for sale to the public. The highest SAR value for this model phone is 0.300 W/kg. It was taken by the Telecom Engineering Center (TELEC), a Registered Certification Agency on the Radio Law. The test for SAR was conducted in accordance with the MIC testing procedure using standard operating positions with the phone transmitting at its highest permitted power level in all tested frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the MIC's technical regulation. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

World Health Organization (WHO)

<http://www.who.int/peh-emf/en/>

ICNIRP

<http://www.icnirp.de/>

MIC

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

TELEC

http://www.telec.or.jp/ENG/Index_e.htm

NTT DOCOMO

<http://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

SHARP Corporation

<http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html>

* Ministry of Internal Affairs and Communications

** The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

*** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines.

These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.265 W/kg*.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-01B is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:

<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.364 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.851 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00105.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.ctia.org/>.

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

0120-005-250 (toll free)

- ※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.
- ※ Available from mobile phones and PHSSs.

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

- ※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

- ※ Available from mobile phones and PHSSs.
- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

- ※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop, etc. near you on the NTT DOCOMO website or the i-mode site.
NTT DOCOMO website: <http://www.nttdocomo.co.jp/english/>
i-mode site: iMenu ▶ お客様サポート (user support) ▶ ドコモショップ (docomo Shop) (In Japanese only)

Loss or theft FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access number of your country of stay -81-3-5366-3114* (toll free)

- * You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

- ※ If you use SH-01B, you should dial the number +81-3-5366-3114 (to enter "+", press the "0" key for 1+ seconds).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix -800-0120-0151*

- * You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access number of your country of stay -81-3-6718-1414* (toll free)

- * You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

- ※ If you use SH-01B, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", press the "0" key for 1+ seconds).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix -800-5931-8600*

- * You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.
- If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.
- If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

索引

あ

明るさ調整.....	38
アドレス・迷惑メール設定	22
アラーム.....	76
暗証番号.....	39
安全上の注意.....	7
インフォメーション受信	75
ウィジェットアプリ起動	71
ウェルネス.....	73
ウェルネス表示設定	73
英語ガイダンス	46
絵文字入力.....	32
エリアメール受信	53
遠隔初期化.....	42
応答保留.....	45
オートGPS.....	60
オートGPS動作設定.....	60
オールロック.....	41
おサイフケータイ	74
お知らせランプ	37
音／画面設定.....	33
オプション・関連機器	88
おまかせロック	41
主な仕様.....	95

オリジナルマナーモード	34
オリジナルEcoモード	38
音楽データダウンロード	69
音量調節.....	33

か

海外で利用できるサービス	49
海外利用.....	48
顔文字入力	32
各種ロック機能	41
各部の名称と機能	4
カメラ.....	61
画面の説明	23
画面表示時間設定	38
画面メモ.....	57
記号入力.....	32
きせかえツール	36
機能別ロック	41
機能割り当て変更	35
キャッチホン	46
クイックサイレント	34
携帯電話機の比吸収率(SAR)	98
現在地確認	59
公共モード(電源OFF).....	45, 46
公共モード(ドライブモード) ..	45, 46

国際電話	44
故障かな?と思ったら	82

さ

サイドキーロック	41
サイトの見かたと操作	56
撮影画面	61
撮影画面のボタン操作	61
サブディスプレイ設定	35
サブメニュー	28
サポート	82
自局番号表示	22
事前の準備	19
視聴予約	65
自動チャンネル設定	65
充電	20
卓上ホルダ	21
ACアダプタ	20
受信設定	53
受信BOX	52
受話音量調節	44
照明時間設定	38
照明・省電力設定	37
初期設定	22
所有者情報登録	22

スキャン機能.....	86
スキャン結果表示.....	87
スケジュール.....	76
ストックアイコン.....	24
静止画撮影.....	62
静止画表示.....	62
赤外線通信.....	81
セキュリティスキャン機能(スキャン機能).....	86
設定リセット.....	42
セルフモード.....	41
その他の便利ツール.....	77
ソフトウェア更新.....	85
ストックアイコンから更新.....	86
メニューから更新.....	86

た

滞在国外(日本を含む)に電話をかける.....	49
滞在国内に電話をかける.....	49
ダイヤル発信制限.....	41
タッチパネル.....	29
端末暗証番号.....	39
地図を見る.....	59
地図・GPS.....	59
知的財産権.....	100
着信音選択.....	33
着信制限.....	42

着信ランプ.....	37
着信履歴	
電話帳登録.....	54
電話発信.....	43
チャンネル設定.....	65
定型文利用.....	32
ディスプレイ・アイコン.....	23
データ管理.....	78
データ受信	
赤外線通信.....	81
i C通信.....	81
データ送信	
赤外線通信.....	81
i C通信.....	81
デコアニメ [®] 作成・送信.....	51
デコメール [®] 作成・送信.....	51
デュアルネットワークサービス.....	46
テレビ電話を受ける.....	44
テレビ電話をかける.....	43
電源ON/OFF.....	22
伝言メモ.....	45
転送でんわサービス.....	46
電池パックの取り付けかた.....	19
電話.....	43
電話帳.....	54
電話帳から電話をかける.....	43
電話帳削除.....	54
電話帳修正.....	54

電話帳登録.....	54
電話帳登録外着信拒否.....	42
電話を受ける.....	44
電話をかける.....	43
動画再生.....	62
動画撮影.....	62
ドコモ提供サービス設定.....	60
取り扱い上の注意.....	15
トルカ.....	74

な

入力モード切替.....	31
ネットワーク暗証番号.....	39
ネットワークサービス.....	46

は

バーコードリーダー.....	76
背景設定.....	35
パイプレータ設定.....	33
パターンデータ更新.....	86
発信者番号通知.....	43
発信者番号通知サービス.....	46
番組再生.....	68
番組取得.....	68
番号通知お願いサービス.....	46
非通知理由別着信拒否.....	42
ビデオ再生.....	65
フォーマット.....	79

フォント(書体)設定	36	マルチナンバー	46	電話帳登録	54
ブックマーク	57	ミュージックプレーヤー	69	電話発信	43
ブラウザ切替	55	ミュージックプレーヤー画面	70	リンク先選択	56
プリセットチャンネル設定	65	ミュージックプレーヤー画面のボタン 操作	70	留守番電話サービス	46
振分け条件設定	52	ムービー	72	録画予約	65
フルブラウザ	55	ムービー取得・再生	72	ロック/セキュリティ	39
フルブラウザ切替	55	迷惑電話ストップサービス	46		
フルブラウザホーム	55	メインメニュー	25		
プレイリスト再生	69	メール	50		
プレイリスト作成	69	メール自動受信	52		
付録	89	メニュー一覧	89		
プロフィール登録	73	メニュー操作	28		
ページ移動	56	メニュー優先設定	25		
ペールビュー	36	メロディコール	46		
便利ツール	76	目次	1		
便利な撮影機能	63	文字切り取り	32		
保証とアフターサービス	83	文字コピー	32		
歩数計設定	73	文字サイズ設定	36		
ボタン照明設定	38	文字入力	31		
ボタン操作	26	文字貼り付け	32		
ボタン/タッチ音	33				

ま

待受時回転連動設定	6
待受設定	35
マチキャラ	35
まとめてロック	41
マナーモード	34

や

ユーザデータ削除	42
輸出管理規制	100

ろ

リダイヤル

わ

ワンセグ	64
ワンセグ視聴	65
ワンセグ視聴画面	66
ワンセグ視聴画面のボタン操作	66

英数字

2in1	46
Bluetooth	80
Bluetooth機器接続	80
Bluetooth機器登録	80
FeliCa	
おサイフケータイ	74
FOMAカードの取り付けかた	19
FOMA端末	2
FOMA端末から利用できるサービス	47
i アプリ	71
i アプリ起動	71
i ウィジェット	71
i ウィジェット画面	24

i コンシェル	75	SMS作成・送信	53
i コンシェル画面	75	SMS受信	53
i チャンネル	58	TOUCH CRUISER(タッチクルーザー)	
i チャンネルテロップ設定	58	27
i チャンネル表示	58		
i モーション	72		
i モーション取得・再生	72		
i モード*	55		
i モード切替	55		
i モード故障診断サイト	84		
i モードサイト接続	55		
i モード問い合わせ	52		
i モードパスワード	40		
i モードメール作成・送信	50		
i モードメール返信	52		
l Cカードロック	41		
i C通信	81		
microSDカード*	78		
microSDカードの取り付けかた	79		
microSDデータ参照	79		
Music	67		
Music&Videoチャンネル	68		
OFFICEED	46		
PINロック解除コード*	40		
PIN1コード・PIN2コード	40		
Quick Manual	105		
SH-01Bでできること	3		
SMS	53		

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申し込み、各種資料請求をオンライン上で承っております。

i モードから

i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き **パケット通信料無料**

パソコンから

My docomo (<http://www.mydocomo.com/>) ▶ 各種お申込・お手続き

- ※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
- ※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
- ※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
- ※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
- ※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
- ※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。



マナーも一緒に携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲の心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

- 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

- 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
- 劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう



カメラ付き携帯電話を利用して、撮影や画像送信を行う際はプライバシーなどにご配慮ください。



ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。よく使われる機能や詳しい説明については、サポートブック(本FOMA端末に搭載)やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話の回収・リサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

- この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要になった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先<ドコモ インフォメーションセンター>

- ドコモの携帯電話からの場合 ■一般電話などからの場合

i (局番なしの) **151** (無料) **☎0120-800-000**

※一般電話などからはご利用いただけません。※携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>
iモードサイト i Menu ▶お客様サポート ▶ドコモショップ

故障お問い合わせ先

- ドコモの携帯電話からの場合 ■一般電話などからの場合

i (局番なしの) **113** (無料) **☎0120-800-000**

※一般電話などからはご利用いただけません。※携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
iモードサイト i Menu ▶お客様サポート ▶ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて

<ドコモ インフォメーションセンター> (24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-5366-3114*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH+01Bから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

海外での故障に関して

<ネットワークオペレーションセンター> (24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH+01Bから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。



環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。



大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社

10.3 (6版)
TINSJA628AFZE
10C 100.0 DS SM124◎